

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小田原新薬品棟建設計画	階数	地上5F
建設地	小田原市田島100番地	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2022年10月31日
敷地面積	9,322 m ²	作成者	ライオンエッジ+大成建設
建築面積	4,755 m ²	確認日	2022年10月31日
延床面積	12,541 m ²	確認者	ライオンエッジ+大成建設



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

標準計算

①参照値	0
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	0
④上記+	0

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.6	Q3のスコア = 1.7
音環境: N.A.	機能性: 3.1	生物環境: 1.0
温熱環境: N.A.	耐用性: 4.1	まちなみ: 2.0
光・視環境: N.A.	対応性: 4.1	地域性: 2.0
空気質環境: N.A.		

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.1	LR2のスコア = 3.6	LR3のスコア = 2.7
建物外皮の: N.A.	水資源: 3.4	地球温暖化: 3.7
自然エネ: 3.0	非再生材料の: 3.7	地域環境: 2.2
設備システ: 4.9	汚染物質: 3.7	周辺環境: 2.4
効率的: 3.0		

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 近隣への影響を配慮して敷地境界から離して建物を配置している 免震構造を採用し地震災害に強い建物としている 	特になし
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 ・室内を清潔に保つための清掃性の高い仕上げ材やディティールを採用している ・免震構造を採用している
LR1 エネルギー ・エネルギー消費量のモニタリングを行っている	LR2 資源・マテリアル ・構造体力上主要構造部分にリサイクル資材を用いている ・躯体と仕上げ材が容易に分解可能としている
	Q3 室外環境(敷地内) ・建築設備に伴う廃熱は屋上付近から放出している
	LR3 敷地外環境 ・雨水流出抑制対策を実施している ・騒音、振動に配慮して建物を敷地境界から離して配置している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される